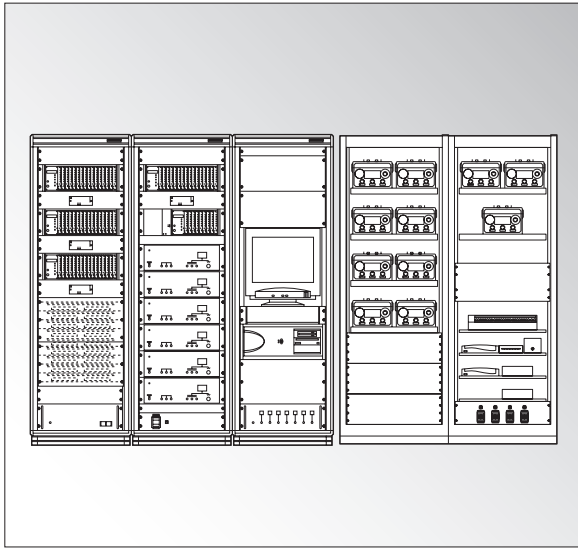


耐震調査計測システム



海洋構造物をはじめとする各種構造物の地震時の挙動を測定するための計測システムです。構造物およびその周辺地盤に設置、埋設された検出器の出力は、観測局舎に設置されたデータ集録装置に送られ測定されます。

集録装置は地震が発生して、トリガがかかると同時に波形の集録を開始し、あらかじめ設定された値を下回るまで測定し、フラッシュメモリに記録します。この一時保存されたデータは地震終了後、設定されたスケジュールにしたがってNTTISDN回線を経由して監視本部にあるデータ集録制御装置に転送されます。

この装置では、集録装置の動作設定、監視および地震波形判定、データ管理などの機能を持っています。データ処理装置は、集録制御装置に集録されているデータを読み込み各種処理を行う装置です。

なお、地震が発生し、トリガがかかるとNTT公衆回線を経由してデータ集録制御装置へトリガ発生とほぼ同時に速報的に最大加速度値を通知する機能があります。

地震時の海洋構造物等の挙動のデータ集録が無人、全自動で可能

- 動的・静的二系統の計測システムに分けて観測が可能
- 集録データは遠隔地へ通信回線を使用して転送が可能
- 通信回線によるデータ集録制御装置から条件設定、データの回収などが可能
- 地震の大きさによって自動的に集録時間の延長が可能
- マルチタスク処理により通信中であっても、地震発生時の監視、データ集録が可能

